

組合議会報告



2億700万円で更新されたはしご付き消防自動車

甲賀広域行政事務組合議会

令和元年第3回定例会

10月7日

平成30年度一般会計歳入歳出決算、令和元年度一般会計補正予算第2号、地方公務員法の改正等に付随する一部改正条例の制定3件、計5議案を審議し、全議案全員賛成にて可決・認定されました。

平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定

歳入総額 36億8千万円
 歳出総額 36億4千万円
 歳入の主な項目は、収入の76%を占める構成市の負担金28億1千万円(甲賀市18億4千万円、湖南市9億7千万円)と、使用料・手数料収入4億3千万円。

ごみ処理費が6億2千万円が主な構成項目となっています。消防関連では、常備消防費として193人の人件費14億6千万円が主な構成項目であります。

衛生センター関連で当面の課題として、ごみ処理施設の設備改良事業があります。平成7年度の稼働から24年目となる施設の延命化が令和元年度(元年度は契約のみ)から令和5年度までの5年間で「基幹的設備改良事業」として計画されています。

質疑

不用額2463万円の主な要因と、監査意見書に不用額の記述が一切なく、監査に当たったの認識について質問がありました。

採決 全員賛成にて可決・認定

一般質問

甲賀市の山岡光広議員から救急出動状況等について、湖南市の松井圭子議員から地域循環型のトンネルコンポスト導入方式について質問がありました。

公立甲賀病院組合議会

令和元年第3回定例会

10月7日

「地方独立行政法人」になる以前の病院事業会計決算認定、病院組合一般会計決算認定、他1議案が上程され慎重審査の上、承認・認定いたしました。

平成31年度一般会計補正予算の専決処分

法人化により職員の退職手当組合から脱退。積立金の返還を歳入に同額を法人に振り替えるもの。

採決 全員賛成にて承認

平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定

病院組合の運営にあたる会計の決算。

採決 全員賛成にて認定

平成30年度公立甲賀病院事業会計決算の認定

診療報酬のマイナズ改定、新規入院患者数の減少、平均入院日数の短縮、また外来患者数の減少により医業収益は大幅な減収。また新病院建設時の余剰金の清算を両市に行ったことによる特別損失の計上で、14億8千万円の純損失となった。

その原因の詳細説明を求め、今後の改善策などを併せて審査。

採決 全員賛成にて認定

病院組合議会が病院事業の予算決算を審査することは今回で最後となり、今後は中期目標、中期計画の議決を通して病院事業を審査することになります。



法人化後も変わらず地域の中核病院として